かさぶたぶたぶ班　議事録

2014/04/30　テーマ決め

メンバー：久保、中丸、野川、宮澤、野中　　　　　　　　　　　　　　　文責：野中

◆GPテーマ検討

◇教科書採択問題（中丸、宮澤）

新たに見つけた問題

・教科書会社の寡占化による記述内容の画一化

・密室採択（採択の過程が非公開）

・教科書発行を巡る問題（質の維持、少子化による発行部数の減少など）

・採択の法的不備（「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」と無償措置法の矛盾など）

　☆CiNiiオープンアクセスの論文は少ない

☆調査の切り口が明確で、たくさんある

◇大学全入時代（久保、野川、野中）

・大学設置基準の変化

改正前：大学設立の基準は厳しいが、一度設立すればその後評価は受けない

→大学に個性がない

改正後：大学設立後に大学が自ら質の評価を行う

・大学における単位の実質化

授業期間設定の基準が弾力化されている

「毎週1時間を15週」→授業期間は「10週または15週」→さらに短い期間も可能に

BUT　大学の授業の改善（能動的学修の推進など）に生かされていない

・私立大学の急増

「一府県一大学」

大学設置基準の弾力的運用

「ひとしく教育を受ける権利」→大学の門戸を広げる

　☆「大学全入時代」で検索しても論文があまりない→テーマを絞る必要

　☆社会学、経済学関連の論文が多い

↑「グローバル人材の育成」と大学改革が関連して述べられる場合が多いため

⇒　**テーマ：教科書採択問題**

◆教科書採択制度の主な問題点

・教師が教科書を選べない

・教科書発行会社の寡占化

　→大手しか残らなくて多様性がなくなる

・密室採択（市教委での採択における議論が公表されていない）

・採択期間が4年

・50年以上改正されていない（問題が指摘されているのに）

・広域採択制度の矛盾（同一採択地区↔市教委）

◆疑問点

①なぜ50年以上改正されないのか

②なぜ教師や保護者の意見が反映されないのか

③無償措置法と広域採択制度（竹富町以外の事例）

→来週までに調べる

担当

①久保、野中

②中丸

③野川、宮澤